



海外トピックス

第四號

(昭和二年九月二十五日)

目次

第一 アメリカ

一、アメリカの國民所得……………一

二、アメリカの家計調査……………二

三、再びカイザーの奇蹟……………三

四、男の世界か、女の世界か……………四

五、最大のインヂヤ産業……………五

—— アメリカ競馬界の近況 ——

第二 イギリス

一、イギリス人はかたを待ち過ぎてゐる……………一

—— これが経済危機の原因 ——

第三 フランス

一、黄パンに悩むフランス人……………三

二、フランスの観光事業復活……………四

第四 ドイツ

一、婦人の産業、女給への進出……………一六

—— ドイツ大衆は反響 ——

第五 その他

一、最近の在アメリカ日本人の情勢……………一七

二、フランス、ドイツおよびイギリスの國民生活……………一八



第一 アメリカ

一、アメリカの國民所得

商務省の発表によれば、昨一九四五年におけるアメリカ國民所得は未曾有の巨額一、六九〇億ドルに達した。これは従来の最高記録を示した一九四五年度の一、五五〇億ドルを約一〇%も上まわり、これをアメリカ國民一人あたりの所得から見ると一、二〇〇ドル、一九四〇年の五七五ドルに比べれば倍以上の増大となる。

これを各州別に見ると、一九四五年に比べて減少したのはミシシッピとフロリダの両州のみで、この両州では前年に比し約二%減少している。一人あたりの平均所得額が最高であったのはネブラスカ州で、その額一七〇三ドル、最低はミシシッピ州の五五五ドルであった。ネブラスカ州に続く第二位はニューヨーク州の一、六三三ドル、続いてコロンビア州の一、五六九ドル、カリフォルニア州の一、五三三ドル、ニューメキシコ州の一、四九四ドル等々であった。

一方、所得総額において前年に比しての増加率はアイオワ州の二七%を筆頭に、モンタナ州二〇%、ミネソタ州一八%、ワイオミング州一七%、ノース・カロライナ州一六%、ミズーリ州一五%の順になつてゐる。以上はいずれも農業州であるが、その所得の増大は農産物の値上りに基因すると思つてよからう。



フロリダ及びミシシッピ一両州の所得が減少したのは、この両州の収入の大半が戦時中軍需産業に占められていたところ、一九四六年に入つてこれらの軍需産業がその活動を停止せしめられたりしたためである。

一九四六年の國勢調査によつて最も注目すべき特徴は所得の低い州が南部にあり、そのうちフロリダ州の平均所得は、南部以外の諸州のそれと比して四〇%も低い。中部、ニュー・イングランド、中部、北西部諸州の一人あたり所得は前年と比して一〇%から一二%の増加、これに對し戦時中増産を遂げた西部、南西部、南東部諸州の増加は比較的低かつた。(UP)

三、アメリカの家計調査

——最近の節約傾向を示している——

ミシガン大學が全國にわたつて行つた調査における一家庭計調査の結果が最近発表された、そのうち主な興味ある数字を紹介しよう。

調査対象は全部で四六三〇万家庭、そのうち現金の比率は、六五%。

収入以上の支出が多く、結局過去の貯蓄に食ひこむかゝることは借入したもので、二七%。

支出と収入がほとんど等しいもの、七%。

貯蓄したも貯蓄が出来ないものうちで、その収入の半分以上を貯蓄に振り向けることの本家は、殊に少くして、ほとんどは前年より大に減つた。大部分のものは貯蓄額は収入の二〇%以下だった。

一方、貯蓄の貯蓄額の半分以上は女性五、〇〇〇ドル以上を有する家庭階級によつて貯えられ、そのうち調査対象に對するものは一〇%に過ぎない。また借入をしなければならぬかつたものも、そのうちで五、〇〇〇ドル以上の負債階級だった。

以上の調査はアメリカに於いて貯蓄の偏在傾向を示していることと明らかになつてゐる。

一、貯蓄は、米、小麦、大豆、砂糖、肉類、魚類、果物、野菜、油類、紙類、布類、日用品、家具、電器、衣類、靴類、化粧品、医薬品、酒類、タバコ、娯楽用品、その他。

貯蓄の目的は、老後の生活、教育費、結婚費、住宅費、旅行費、その他。

貯蓄の場所は、銀行、郵便局、証券会社、信託会社、その他。

貯蓄の期間は、短期、中期、長期、その他。

貯蓄の金額は、一、〇〇〇ドル以下、一、〇〇〇ドル以上、その他。

貯蓄の回数、毎月、毎月、その他。

貯蓄の動機、貯蓄の習慣、貯蓄の奨励、その他。

貯蓄の意識、貯蓄の知識、貯蓄の技術、その他。

貯蓄の環境、貯蓄の政策、貯蓄の法律、その他。

貯蓄の将来、貯蓄の展望、貯蓄の課題、その他。

- 三二%
- 二五%
- 一五%
- 八%
- 五%
- 三%
- 一%

教育費として使用
日計経費として使用

別荘
別荘

一〇七%
四%
二%
二%
二%

(合計が一〇〇%を超えたのは一人、二つの答えをした人がいるため)

専門学校以上の卒業者は、貯蓄する傾向が多いが、小中学校卒業者は住宅を買う傾向が多い。銀行預金と住宅購入とをともに貯蓄と見れば、教育投資による傾向の差はないといえる。

自動車および家庭用設備を一番欲しいのは二一・三〇歳の主婦の人で、五人中の一人の割合である。

自由職業および実業に従事するものは、農家および勤労労働者よりも貯蓄を強調するが、事業に投資するのは農家が一番多く、勤労労働者は住宅に投資したがる傾向が多い。

全体として見ると、貯蓄しようとする者が多く、総じて車買下というものは三〇%に過ぎない。(ワシントン・ポスト、八月、二、UP)

三、再びカイザーの奇蹟

——自動車王のカイザー——

戦争中一技術から造業に乗り出して戦後標準型車の建造に「奇蹟」を未した例のヘンリー・カイザーが戦後全度自動車工業に進出して、この分野においても再び「奇蹟」を未現した。この行くところとして可ならざるべきカイザーは実にアメリカの資本主義が生んだ「怪物」ともいえるべき人物だ。彼がその共同経営者ジョーゼフ・フレイザーとともに創立したカイザー・フレイザー社は、創業以来僅々二年ばかりの間、遂に現在ではアメリカにおける第四の自動車製造会社になつてしまつた。

今から約一年前にはカイザー会社の自動車はただ表の上の設計にあつただけで、現実に製造されたものは一台もなかった。しかも約六ヶ月前には金銀りに回つて一、二〇〇万ドルの借金をし、これは恐ろしく有様だつた。しかも今日廿(六日)では三大自動車会社、シエスラル・モーターズ、フォード、クライスラーに次ぐ第四の自動車会社となり、漸入の非常にむすかしくいへば、自動車工業において今や押しこめられぬ地位を築きあげた。

同社が目前製造中の自動車はカイザー、スペシアル・フレイザー、フレイザー・マンハタンの三種であり、その値段はそれぞれ一九一セドル、二一五ニドル、二五〇ドルである。カイザーは皆初値段の安い大衆車を使給すると言明したが、水不上つた自動車の値段は右の如く決して安いものではない。この点では人々を驚かす大膽な手だ。

しかし同会社がこれまでも奇跡不天に陥入である時に、彼の大会社にもあつたほどの大量生産の設計に成つたことは依然として産業界の奇蹟といふべく、同社の生産力は六月には一三、〇三

九台に達し、八月には一萬〇〇〇台の目標をたてている。

同社を率いている人物は勿論ヘンリー・カイザーである。しかし彼が事業の表面に出て来ることは極めて稀で、もっぱら裏台裏にあつて米盛をふるつてゐる。その共同経営者フレージャーは主として設備方面を掌管している。同社最大の工場はデトロイトのウイロー・ランにあり、そのウイローランの工場長が本主三九歳のカイザーの御曹子エドガー・エ・カイザーである。だが製造方面での事業上の責任者はエルガー・エ・ハントという人物である。カイザーの会社が新しく事業を開始した關係上、他の自動車会社からの優秀な人物の引成きは多論行われたが、ハントもその一人でクライスラーから来た人物である。彼は戦争中クライスラーの戦車工場で新記録を打ち立てたことのある折紙ずきの軍師家である。なお同社のウイロー・ラン工場では現在九、〇〇〇人の職工を束づけているが、そのうちには帰還兵が非常に多い。(UP)

四、男の世界と女の世界

今日の世界で婦人はどんな地位を占めてゐるか、ニューヨーク・タイムス・マガジン誌(八月一日付)はこれに關する興味ある調査を行つてゐる。

△経済において

一、世界最大の会社たるアメリカ電話電信会社の株主のうち五六%は婦人が持つてゐる。

△地位において

二、民間で所有してゐる戦時公債の三分の二は婦人の名前になつてゐる。

三、相対貯蓄銀行の預金勘定のうち九五%は婦人が持つており、郊外住宅の七四%まで婦人を客員として何れが注意深い。

△投資家として何れが注意深い

それは婦人だ。株主投資家の世論調査によると、婦人の方が注意深く、「彼らは株主および債券を買う前に、男よりも多くの新聞を熟読する」といふ。(ユーマス・フラー・バーナード著「チャッカーの婦人」より)

△大衆に接するには両性のいすれがよい

婦人だ。彼らは丁寧で、快活で、よつと良心的であり、詳細にあつてよく、また正確である。(ニューヨーク州労働局婦人の仕事と賃金)から)

△社会的に

△両性のうちいすれが勉強家か。

それも婦人である。女學生の教育水準は男學生のそれよりも平均して高い。大衆にあつては婦人の學生の方が男學生より二三%多く圖書を引出してゐる。(タテイチャ博士著「大衆の保存性」より)

△いすれが速く読み、速く書くか。

婦人だ。少女や婦人が読むばかりでなく、讀み書きにも熟練してゐる。そしてその間にも緊要して見せることが少い。(アイゼンバータ博士の著書より)

△いづれが多く犠牲をたつてゐるか。

婦人である。あらゆる手段を通じて、婦人の方が言葉を知り、理解する点において優れている。(ナイヌ博士著『道徳の大変革について』より)

△心理的に

△いづれが危機に耐え得るか。

それは婦人である。よる老練な社会事業家達か、洪水、飢饉および戦争等の危機における大衆の態度を研究して発表したところによると、婦人の方が大体において緊張態に耐え得ることの詳細にわたる。(ハリテラリー・ダイジェスト)

△いづれが統率を容易に持つてゐるか。

婦人である。眼、鼻、耳およびあらゆる感覚において婦人は男に優つてゐる。例へば紙幣の勘定は婦人でなければ到底出来ないとさえいわれている。(モマンベル著『科學および歴史上の女性』より)

△いづれが健康か。

これも婦人だ。女生のときは女一〇〇名に對し男一〇五名の割合になつてゐるが、二一年につゞつてこの比率は變り、生存者は女の方が多くなり、その後づつと女の方が多し。(マイルヌ博士著『社會心理に於ける女性』より)

五、最大のインヂヤ産業

——アメリカ競馬界の状況——

某酒莊は例外として、現在アメリカで未曾有の大火がかりなインヂヤが台首公然と行われてゐる。それは競馬である。近年アメリカの名競馬が衰へたお家の数は三三〇〇万にも上つた。アメリカの國技といわれるメイジマ・ロータの野球でさえ一、九〇〇万の興業を棄めたに過ぎない。このお家が支拂つた入場料だけでも三六〇〇万ドル。その賭金に至つては一八億ドルという恐るべき数字を示した。これに加えて非合法なあらゆる場外取引に賭けられた金額は更に多く四五億ドルの巨額に達し、これらも總計すると昨年の競馬は実に六三億ドルという一大産業を形成したことになる。

かかる巨大な産業の生む利潤がこれまで巨大な額に達するのは當然である。しかもその利潤なるものが、いづれも多少なにかインヂヤ性のよるものである。賭金はもちろんで勝馬にかした人々に分配されるのだが、それ前に競馬場當りはいわゆる手数料なるものを差引く。この手数料の率は州の法律で決定され、最もはカンザス州の八・五%から最大はニューヨーク、フロリダ州等の一六%に及ぶが、競馬場の経営者たちは、議員たちとの特殊な関係を利用し、よるいは直轄施設によつてその全取り額を水取さだけ多くしようとしてゐることは天下周知の事實である。かくて競馬場経営者はあらゆる企業のうちでも一番儲けの多い事業とされ、たとへばロンドン・アイランズのシママイカ競馬場では昨年の春に於つた一日で二五万ドル近い半取りがあつた。またロンドン・ヒルズのサンタ・アニタ競馬場は不況時代の一九三四年に開かれたものだが、経営第一年

に早くも金貨額を回収し、現存はその残額は當初五〇〇〇ドルだったものが六五〇〇〇ドル
とこの高値を不し、しかもその値段でさえ青物皆無という有様である。同様に馬場は株主に對して
半三割五分から三割の配當を行つてゐるが、それでも金がより餘つて居るので、しつかり色々な
企業に手を伸べてゐる。

場外の賭はもちろん非法なものであり、これに關する数字を入手する方法はまづないが、た
だ業者が非常な儲けを得てゐることだけは明白である。それは取りもなおさずお宝が頻を
することを知ることだ。たとへ一時の儲けはまあたゞのお宝でも結局長期にわたれば必ず損をする。だから賭
博業者としては常に新しい種を見つけたければならぬ。ニューヨークのある業者のことは新
しいお宝を人々を飽かしてくれた者に贈給一〇〇ドルを払したことを云ふ。これをまづても彼ら
が如何にうまく儲けてゐるかがうかがわれよう。

まづこの非法法ではあるが、警察當局その他が場外賭博の行われてゐる事實を知らぬ筈はな
い。だから賭博業者は関係當局に莫大な賄賂を渡つてゐる。たとへばシカゴでは警察に對する業者の
賄賂が非常に多く送られてゐるので、時に時に警察から非常な保護を受け、同様のメニング仲間
はこの賭博業者の命を護りが一着危険なことにされてゐるといふほどである。(ライフ)

女
三

第二 イギリス



「イギリス人はかぬを井ら過ぎてゐる。」

——これが経済危機の原因——

「イギリスの経済危機は、イギリス國民がかねて餘り持ち過ぎてゐるところから起つてゐる。
ラカール・ストリート・シヤーマルのロンドン通商銀行、V・V・オームスビーはこう断定
し、ドル不足が原因だと理解してゐる人々を呼まひいせでゐる。しかし彼のいふところは精確
明瞭だ。可く

イギリスでは政府の財政令で金種價格が安く抑えられてゐる。だから一環市長は他の方に買
るかわを多く持つ輩だ。これが新種をサード・ヴィンに對する需要を創造することになる。その結
果、本来なら輸入品製造に向けるべき資金がサード・ヴィンが國內で使われてしまふのだ。
オームスビーによれば、アメリカがイギリスの援助を續けよう、またはイギリス政府が小手
先きの政策を押しよると、イギリスの禍根は癒されぬ。ただ一生懸命に働くより外ないとい
ふのである。氏はいふ。

一九四五年度の總選挙で労働党は次のような宣言を行つた。——第一次大戦後の経済危機は選
民諸君が保守党に絶對多数を授けたからだ。もし労働党に政権が與えられたならば、重要は

金を費していただろう、と。ところが今日、事態は第一次大戦後より悪く、生計の金を大部分輸入に仰ぐ人口四、七〇〇万のイギリスのような小國が一世代に二度も世界大戦を戦うこと自体が無理だったと今さらいつても遅い。

時局は如何にしてこの危機を解決する外である。その一つの方策は通貨インフレーションの弊を痛みとることであろう。一般の意見を綜合すると、もしドルトン蔵相が三億五〇〇万のポンドの削減を遂げようとするならば、過剰購買力は必死に減らさねばならぬ。

今日、大衆のポケットにカネがあることがイギリス経済をゆがめ、たえず産業に恐慌を伴る主因である。政府が莫大な補助金を出して食糧増産を世界水準以下に墮れては結果、一般市民は世の方面に使うことの出来るカネを揮り過ぎてゐる。それが緊要産業、特に輸出品製造部門に何れもなければならぬ輸入品が國內大衆消費の方に何れられてゐる理由だ。

いずれの政黨が政権を握つても、今日政界上のチレンマは免れなからぬ。しかし現在の主人連——プロレタリア——は次のことを知らなければならぬ。すなわち食糧と原料と充分輸入出来るようにするために、輸出品を多量に生産する必要がある。これがために彼らは一生懸命に働かなければならぬ、ということである。それができなければ、生命をやるうとやるまゝとイギリスは没落する外はない。(ウァーレル・ヌトリート・ジャーナル、七、二九)

水三

第三 フランス

一、黄パンに悩むフランス人

フランスでは玉蜀黍と小麦からなるイエロト・ブレッド。(黄パン)が明眼になつてゐる。小麦の生産國であり、白パンに慣れたるフランス人も、小麦不作のためアメリカマールゼンチンから輸入された玉蜀黍を混ぜた黄パンを配給されてゐるが、彼らはこれに不満で、黄パンでは体を病うと毎日のように世情を申し立てる。



由来、パンはフランスで合理的、合理的重要性を帯びてゐる。最近我々諸地区にストライキが相つたに起つたのは、パンの品質が悪くことに原因があつた。小麦の不采から食糧省が水田を配給せざるをえなかつたからである。フランス人は玉蜀黍のパンはまがいばかりでなく、健康上よくないと思つており、パン屋や食糧省當局のいうところによると配給品の半分以上は食糧不足にふかれるものと見てゐる。

なおフランス政府當局のいうところによると、パン田玉蜀黍の配給はところによつて非常に好らまちで、小麦の全産とれない縣では一〇〇%、フランス全体では三〇—五〇%の平均になつてゐる。餘りは小麦、大麦、ライ麦等である。政府當局では黄パンの改良に種々研究を進めてゐるが、何しろ玉蜀黍のパンは小麦パンより二倍の重さがあるので、それだけ分量が小さい譯であ

リ、自然消化がよくない譯だしと譯解してゐる。(ハラルド・トリビュン 八・三)

二、フランスの觀光事業復活

戦前觀光客がフランスに送す金は戦前のフランスで九〇億に上り、一五〇万のフランス人がこれ
で生活し、フランスの重要な財源であつた。ドイツ軍の上陸中は旅館の大部分は放棄され、荒れ
放題に荒れたので、その損害は一九三八年のフランス價值で約一六〇億フラン、修理費として現在
のフランスで約一六〇億フランを要する程度になつた。そこで一九四五年度の觀光客収入は明顯と
ならず、一九四六年には旅館も若干發給解除となり修理もできたが、食糧事情の不良その他理由
由で客数も少く、がつちりした旅行者はドルを闇で換えたり(當時公定相場は二倍)するので、
収入も期待に反し、客数は一九三八年の九〇万人(各團合計)から昨年は一五万人、落した金
は戦前の二億五〇〇〇万ドルに比し二五〇〇万ドル(公定為替)と一割に減つた。

モネの経済復興計画案では一九四七年の觀光客収入は一億五〇〇〇万ドルの豫定で、一月には
一九四七年中一〇万人のアメリカ人が来ると見込まれたものが、三月には八万人の見込となり、
四月には六万人の見込となつた。収入の一億五〇〇〇万ドルの豫想もそれに比例して減少し始め、
七月七、五〇〇万ドルも入れれば善果といふことになりそうである。

一方、觀光局長は大わらわで、大多数の料理店については消費税を廃止し、残りの高級料理店
については税率を一率に二五%とした。奢侈品は過去にはある部門に對しては七五%にも多んだ。

中
西
の
間

再建された旅館業も能力の八割以上で營業してゐる、アメリカ人の二つの大きな必需品たるガソ
リンと紙巻煙草の供給も昨年よりは、ずつと改善されてゐる。ガソリンは政府が闇相場をそのまま
合法化したので高いが(一ガロン約一ドル五〇セント)おけなく手に入る。煙草は町ではドイツ
の様に買えず、闇では高いが(一袋約一ドル八〇セント)、それ以外には手に入らぬ。しか
し特別な計らいでアメリカ人旅行者は無税で一〇〇〇本持込める。一番重要なのは外國旅行者に
對する手續が緩和されたことである。旅券検査は途中で行われ、荷物の検査はパリ行の車中で行
われる。交通手帳と通行場には出番所が設置してある。

ただ以上の改善措置はまだ十分に徹底してゐないから、到る處にたごたごが延びてゐる。

色々遅延はあるが去年よりよくなるつたことは事實で、日曜日はジエルクサイユの大賣木も水も
吹き出してゐる。しかし光の都パリはまだ夜は凸凹な舗道に、まぶくほと暗く、昔公館のように
なることはなからう。(フオーチエン 八月號)



第四 ドイツ

一、婦人の産業、政治への進出

——ドイツ大衆は反対——

婦人が政界に、産業界にはいつて行くことが、デモクラシーを發展させる重要な条件である。そういふ見地からドイツは獨逸合國内では婦人が公的生涯にはいることを非常に勸奨してゐるが、イギリス軍政府の調査によると、この努力は餘り成功してゐないようである。

古くからのギンダー・キルハ・ウント・クーハ(子供と教會と台所)の信條が、いまも男子からだけでなく婦人の間に念ん支那的に支持されてゐる。イギリスは獨逸地帯では男子よりも婦人の方が二〇〇万も多しから、婦人の地位についてドイツ人がどんな態度をとるかはその重要なポイントであるが、イギリス軍政府の調査によると、

同じ領地帯の住民のうち婦人は男子と同等の権利を持つべきであると信じてゐる方は僅か三五%にすぎない。もっともベルリンだけだと市民の約五〇%が男女の平等権を信じ、婦人の地位が今後一〇年間ドイツの政治的影響を與えるものと信じてゐる。しかし産業界に於ける婦人の平等権についての意見は余り決定的ではない。五〇%より少し多し市民は産業界に労働不足が問題になつても、婦人が割込む餘地はないと信じてゐるようである。

また調査の結果によると、教會の牧師が政治に關與することも反対(六〇%)が多いが、これも婦人の場合と同様「政治は人慾を損う」という論據に立つてゐるためと思われる。

(ニューヨーク・タイムズ 八・五)

第五 その他

一、最近の在アメリカ日本人の情勢



ハワイを除いてアメリカ本國にゐる日本人は一世と二世を合せて十二、三万、その大部分は戦前カリフォルニア、ワシントン、オレゴン等の西部諸州、特にカリフォルニア州に集中してゐた。對日開戦と共に此地に強制移住を命ぜられたこれら日本人の大部分は居住地に續々帰還してきたが、この数年間の空白時代のために太平洋岸の日本人生活にも色々の変化が起つた。シアトル、ロサンゼルス、サンフランシスコ等日本人が多数集中してゐる所では、戦前日本人街は「リットル・トゥンキョウ」と稱せられて他の世界から送られて來た一種の特殊地域をつくつてゐた。そこは全く内地の縮圖で、安政さんびやく料理屋あり、すし屋あり、天ぷら屋あり、そば屋あり、井下左衛門や金色紋など日本映画専門の活動小屋もありといつた具合で、日本人は「わが友を食ひの生活を學んでゐた」ところが数年経りで古樂へ歸つてきた日本人は情勢が一変してゐるのを發見した。元の「リットル・トゥンキョウ」には黒人が多数入り込んでゐる。白人もゐる。彼らだけの小さな世界を失つた日本人達は大きなアメリカ人社會へ溶け込まざるを得なくなつた。就職口をさがすにも商賣の顧客を求めると、廣いアメリカ人社會を對象とせねばならなくなつた。これは日本人にとつては一す淋しいことには違ひないが、外國へ行つてまで日本人會同志の「がみ合ひ」をやる島國根性の故に知らぬ日本人には良い業であり、

他日の飛躍への第一歩として新しい境域を開拓する勇氣が溢ましい。ロサンゼルスへ遷った日本人は戦前の三七、〇〇〇人に對して二八、〇〇〇人で、日本人街には黒人が大分入り込んでいたが、人種的な軋轢もほとんどなく、日本人は古巣へ戻り、今では戦前のロサンゼルスを中心とする南部地方の日本人の百姓さんに代つて黒人が日本人商店の重要な顧客となつてゐる。商賣別にみると料理店は衰微し、八百屋も餘り香しくないが、ホテルは家のない日本人で大入満員の大繁昌である。日本人街から外へ進出した者もかなりあつて、ドライ・タリー・キング、花屋、食料品店、ホテル、園藝などをやり、廣くアメリカ人相手の商賣をしてゐる。もう一つ新しい現象は二世の娘たちが澤山オフィス・ガールとして働か出したことで、ロサンゼルスでは二世の娘は方々から引つ張りだごさうである。

サンフランシスコでは戦前になつた日本人約五、〇〇〇人の大部分が遷つてきたが、この日本人は三井、三菱とかその他日本に本據を有する大会社に會生した者が多く、土着の日本人の商賣は餘り振わなかつたので、日本の大會社が閉鎖されてゐる結果、ロサンゼルスやシアトルなどよりははるかに日本人街の復興が進んでゐる。

シアトルでは戦前の日本人七、〇〇〇人のうち遷つてきたのは四、七〇〇人に過ぎないが、ほとんど戦前の衆態に復帰し、かれ等は一般アメリカ人並みの豊かな生活をじてゐる。(UPP 八・二八)

二、フランス、イタリー、ドイツおよびイギリスの國民生活

表裏の世

ニューヨーク・タイムズ日曜版長リスター・マーケルは約二カ月に亘る西次視察から歸つて、これら諸國の主な状況を左の如く報告してゐる。

△フランス　パリはやはり光の街ではない。フランス生活に笑光と趣味を投じていた小カフェは夜十時となればもうひっそり閉としてゐる。多くのパリジヤンには、かねも本ければ元氣もない。しかし脚車は繁昌してゐる。車体の軽々な人物が大連りの真中でわれわれを呼び止めて、公家レートの約二倍でドルとフランとの交換を要求する。一流ホテルにお茶を召しに行つて見れば、そこは上流の人々で一ぱいであり、流行の行列である。

最近鉄道罷業があつたが、それは月七、〇〇〇フランの賃金要求から発したものである。七、〇〇〇フランは蘭相場で三五ドル、蘭レスタランで二人してとる高級料理一百分の支拂ひにしてか過ぎる。

△イタリー　イタリーは外國旅行者にとつてはパラダイスである。ニドル本せばニューヨークでドル以下ではとれないような會話がとれる。商家にはあらゆる欲求がこぼれ込んでゐる。箱も筆製箱もニューヨークの百分の一の値段で得られる。ホテルにしても他のヨーロッパ諸國に比べて非常に安い。

イタリーは旅行者にとつてはしかたにパラダイスである。——だがそれはイタリー人以外の人間にとつての誤である。都市に農村に會園と飢饉は現象を覚えてゐる。

△ドイツ　ドイツではベルリンとかルールを離れば一般に國民の受難は甚くはない。政府の命體副官は鈔票問題の一部を解決して來れるに過ぎないが、多くの市民は農村に歸來して行つたり、

罈子で買つたりして補給している。

外國人の持つてゐる食糧、煙草、コーヒーなどはその原價の百倍には賣れる。かりにベルリンの骨董屋に煙草一〇箱入り三本も持つて行けば、ニューヨークでは少くとも二〇〇ドルするにせむと引換えて呉れる。

△イギリス イギリス人の食事はヨーロッパが一番まずい。しかも闇市場またはバーターによる救済がない。どんな食事で三コース以上は許されない。多くは二コースであり、産物そのものである。イギリス人の服装はこれまた怒ろしく見事ではない。しかし衣料切符のごまかしというものはない。だからお天気でも回復しない限り、「明るく」ところは録りないといえよう。

しかし全般的に見て、國民精神は豫期したところよりも引立っている。彼らは病れているが、しかし自らを信ずる力によつて勵まされてゐる。彼らは傳統を持つてゐる。

(ニューヨーク・タイムズ・マガジン 八・三)

